

自治体議員立憲ネットワーク・千葉県は
2016年参議院選挙千葉選挙区において、小西ひろゆき参議院議員を推薦します。

【推薦の理由】

安倍首相は、一昨年の集団的自衛権行使容認の閣議決定、昨年の安保関連法案の強行採決など、民意を無視し、国会のルールも破り、民主主義と立憲主義を踏みこじつての暴走を加速させています。

首相は、夏の参議院選挙の争点を「憲法改正」であると明言し、その突破口として、戦前の戒厳令を想起させる「緊急事態条項」を上げています。緊急事態の認定は閣議決定だけで済み、市民や自治体が国の指示に従うことを強制されるなど、憲法で保障された基本的人権が過度に制限される可能性があります。

また、首相の狙う「憲法改正」の本丸が「9条」であることは明白です。

このように、日本が営々と築いてきた平和主義と立憲主義が危機的状況にある中、私たちは何としても「立憲主義を真に理解し、平和と民主主義を守るために全力で闘う議員」を国会へ送り出したいと、民主党現職の小西ひろゆきさんを推薦することに決定しました。

小西ひろゆきさんは、昨年9月、参議院特別委員会で無法地帯と化した採決現場において、自公勢力による暴力的で違法な採決を阻止しようと果敢に闘いました。また、憲法にかけては国会議員中右に出る者がいないほどの論客でもあり、理念と行動が完全に一致した数少ない国会議員の一人であることは間違いありません。

小西ひろゆきさんを再び国会へ送り出すべく、私たち「自治体議員立憲ネットワーク・千葉県」は小西さんを推薦し、全力で応援します。

2016年2月17日

自治体議員立憲ネットワーク・千葉県一同